

国保・メガソーラー計画など6省庁に要望

奈良
北野選挙区候補、
県議団
大門さんら同席

奈良県委員会と県議団は20日、厚労、経産、環境、国交、法務の5省と林野庁に要請行動を行い、北野いつ子参院選挙区候補、党県議団(4人)、宮本次郎前県議が参加、大門みきし参院議員、宮本岳志衆院議員が同席しました。

1. 厚労省

○国保の都道府県化に伴い、市町村独自の保険料負担軽減策を認めるとともに、保険料算定基準に反映される徴収率の設定を実態に見合ったものに。

○小学校休業等対応助成金(子どもの臨時休校で親に有給休暇を所得させた事業主への助成金)について、支給上限額は全国一律に→「全国一律は難しい」と回答。これに対し、奈良県でまん延防止措置が出されないもとの、親の就労先がまん延防止措置が取られている大阪などであれば対象になるが、取られていない奈良であれば対象にならないという矛盾が起きている。これについては答えられなかった。

2. メガソーラー問題(林野庁、経産省、環境省、国交省)

平群町で問題になっているメガソーラー計画は、関係省庁まとめてレクを受けた。

○環境省 奈良県は、産廃が混入した盛土について、混入物を除去することなしに、さらにその上に盛土造成を行う事業計画を許可した。違法状態の解消には混入物の除去が必要ではないか→(回答)もちろん除去が必要。この件について奈良県に確認すると、業者を指導しているとしているので、環境省としても注視する→(回答を受けて)盛土の中から取り出したコンクリート片などを県が長期間、仮置きしたり、一部をフレコンバックに詰め込んで土嚢として利用している実態を告発すると、環境省も「産廃は適正に処分いただきたい」と驚いた様子。県に確認してもらうことにした。また奈良県が「調査の権限がない」などとして、さらに調査を行おうともしないことについては、「法律上は、調査は義務ではないが、『できる』規定になっている」と回答。今後の取り組みに生かす。

3. 国交省

○京奈和道大和北道路の地下トンネル工事について 東京外環道での陥没事故以降、シールドマシンによるトンネル工事への不安が高まっている。工事によるリスクに対する認識は?計画地域の地盤調査の実施と結果公表を。

4. 法務省(旧奈良監獄について)

建物の文化的な価値とともに、戦前の治安維持法犠牲者を収監した歴史などを常設で展示する資料館としても、保存、活用をすべき。



大阪・渡辺弁護士 大門さんのエッセイに心動かされ絵に

「心を動かされて大門さんのお母さんとの写真を絵にしました」——こう語るのは、きづがわ共同法律事務所(大阪市浪速区)の渡辺和恵弁護士。18日大門みきし参院議員が渡辺弁護士を訪ねました。渡辺弁護士は、大門議員のエッセイ(「母を語る」)を読んで「お母さんは今でいうダブルワーク。母恋しさにテクテクと暗い夜道を歩いてお母さんの働くお店にたどり着いたみきしさんに、お母さんは帰りの電車賃を小さな手に握らせて帰らせた——映画の一シーンを

見る思いで涙が込み上げた」と。渡辺弁護士の母親も小さな文具店を営んで3人姉妹を育てたといいます。

大門議員は、「ありがとうございます。家宝にします。国会の事務所に飾らせていただきます」とお礼を述べ、参院選で弁護士である、にひそうへいを含め5人の当選を誓い合いました。

22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 18(2022.4.22)